

令和8年度 施策事前評価シート

施策責任者 所属	企画財政課		電話番号	直通	989-5504
基本目標	住みやすく働きやすい豊かなながいずみ				
政策	快適で便利なまちの実現		施策分野	公共交通	
施策分野 の総事業費	前年度 決算額	69,915	千円	今年度 予算額	47,535 千円

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値 (R6)	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和12年	単位	進捗 評価
1	公共交通が充実している と思う町民の割合	目標値	28.0	30.0	33.0	36.0	39.0	45.0	%	B
		実績値	30.0	30.0						
2	町が提供する公共交通 サービスの利用者数	目標値	49,000	50,000	43,500	43,500	43,500	43,500	人	E
		実績値	43,500	37,297						
3		目標値								
		実績値								
4		目標値								
		実績値								
					総合評価			C：進捗が思わしくない		

事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	コミュニティバス（南北線、循環線A、循環線B）の運行、民間乗合バス事業者への支援、デマンド乗合タクシー（ももタク）の運行、マイナンバーカード活用タクシー利用助成事業の実施、バスロケーションシステムの導入、コミュニティバスの路線再編（令和5年1月）、AIオンデマンド交通実証運行（令和6年8月、令和7年8月～10月）、小学生バス無料デーの実施（令和6年12月、令和7年12月）、循環線の減便の実施（土休日及び年末年始）（令和7年6月）、循環線の実証運行終了（令和7年12月）、デマンド乗合タクシー（ももタク）の運賃改定（令和8年3月）
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	・住民意識調査の設問が、令和2年度は「全員」が対象だったが、令和3年度以降調査対象のうち公共交通を「利用している」「ときどき利用している」と回答した方に限定。 ・町BUSMAPの配布や広報ながいずみ等での周知を実施してきたが、利用者数の低迷と経費の増大により、令和7年12月に循環線の実証運行を終了するなど、公共交通を取り巻く環境は非常に困難な状況にある。 ・ももタクは、路線バスの退出に伴い、その代替交通として平成30年10月より運行を開始し、直近3年間の平均利用者数は年間1,500人前後で安定推移し、地域の足として根付いているものの、収支率が低迷している。 ・バス事業者の人手不足等により路線バスの減便や退出が増加し、今秋には駿河平線退出が予定されていることから、駿河平線に代わる交通が求められる。
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	・令和7年度のAIオンデマンド交通実証運行では、令和7年12月に実証運行を終了した循環線に代わる新しい交通として、実用化が検討できる実績と需要を確認することができたため、本格運行に向けた運行内容を検討する。 ・これまでのAIオンデマンド交通実証運行やマイナンバーカード活用タクシー利用助成事業、乗降調査等を踏まえ、公共交通全体としての在り方について最適な手段を検討する。 ・燃料費や物価の高騰による減便の抑制と公共交通の充実を図るためには日常生活に必要な不可欠なバス等の公共交通サービスを持続的に提供するため、燃料価格の高騰による影響を受けている路線バス事業者及びタクシー事業者に対し、燃料価格の高騰分の一部について補助金を交付する。（国庫補助金活用）